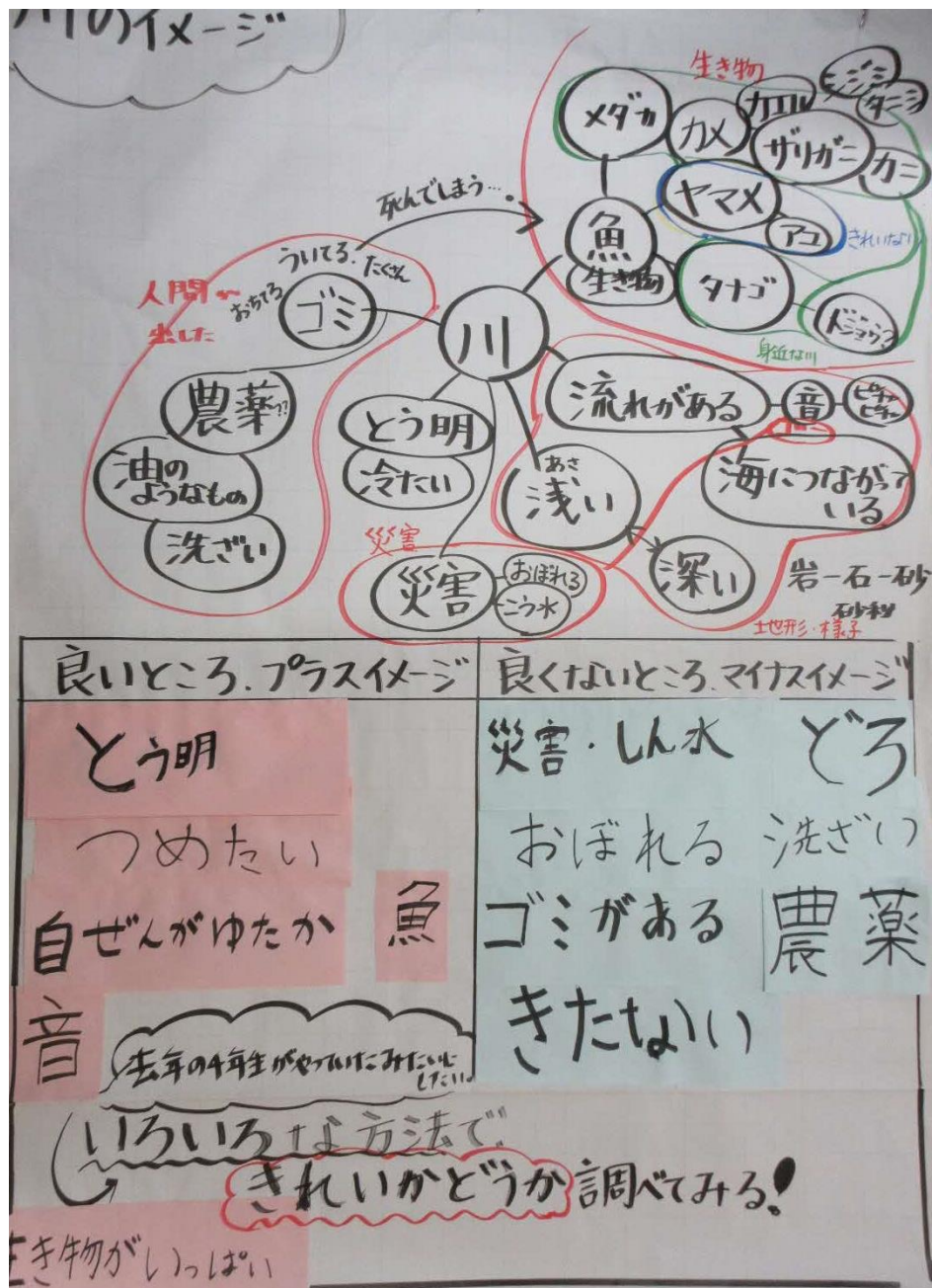
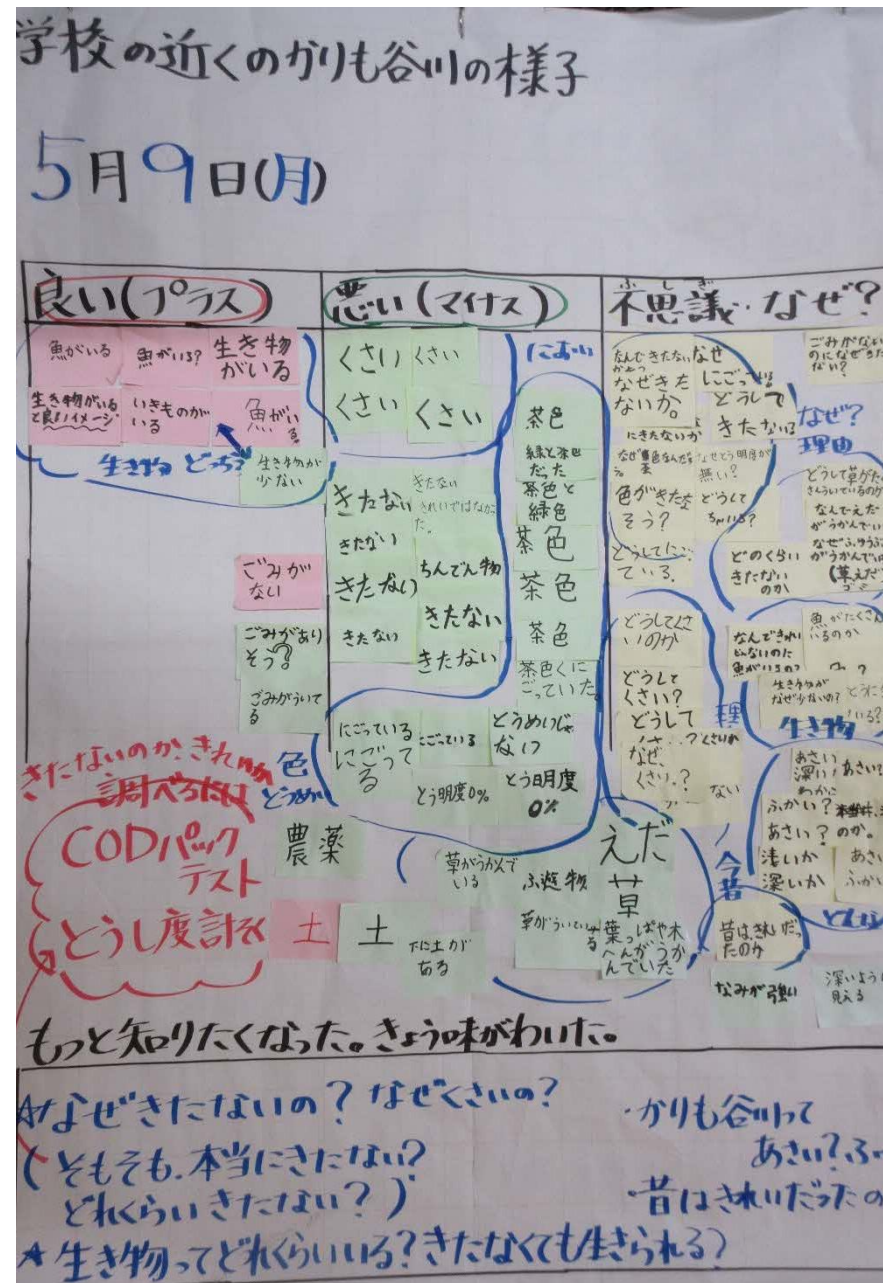




話し合い活動① 「川」のイメージ



話し合い活動② 下流域の様子から考えたこと

刈藻谷川 中流域 調査のまとめ

(1) 日時 5月16日(月) 10:00~11:20

(2) 天気 晴れ 前日の天気 晴れ

(3) 気温 19℃ 水温 19℃

(4) CODパックテスト

班	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
COD (mg/l)	7	6	4	6	5	5	8	4	5.6

(5) とう視度

班	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
とう視度 (cm)	35	45	60	55	55	45	35	55	48

(6) 水生生物

・ドジョウ ・ナミウスミシ ・ヤマトビケル
 ・サワガニ9 ・カニナ類 100匹以上 ・ゲンゴウ1
 ・ヤゴ(オニヤンマ, コオニヤンマ) ・タニガワカゲロウ9 ・オタマジャクシ 20匹
 (カミキリムシ, オケラ)

↓

① 他の場所はどうかな? → 上流・下流で調べてみよう

② 生き物で川の様子かな? → せん門家に聞いてみよう

話し合い活動③ 中流域調査を終えて

刈藻谷川 上流域 水質調査のまとめ

1. 日時 令和4年6月28日(火)

2. 場所 刈藻谷川上流(こゑと上, 上に民家なし)

3. 調査結果

(1) CODパックテスト(mg/L) (2) とうし度(cm)

代表	辻井	平均
2	2	2

中流 5.6
下流 8

100以上

(3) 指標生物調査 ① きれい ② ややきれい ③ やはれ気味 ④ よれ気味

班	1	2	3	4	5	6	7	8
きれい度	①	①	①	①	①	①	①	①

9 10

(4) 結果が分かること

- ・思ったよりきれい
- ・上流いきはとってもきれい
- ・中流いきもきれいだから、きたないと思ってたけど、ちがった
- ・とうし度が100以上でびっくり

(5) 中流・下流いきとの比較

上流 → 中流 → 下流

きれい ← → よれ気味

人が少ない ← → 人が多い

人間がしている? 畑・菜? 洗濯? 油? 自然の植物

ごみ調べ(1分)

川や水路沿い

近所の人? 川の人? 自然の植物

話し合い活動④ 上流域調査を終えて

突道湖西岸の調査(まとめ)

1. 日時 9月12日(月)
2. 場所 突道湖西岸
3. COD... 8人以上
4. 透視度... 68cm
5. 生き物調査

I きれいな水-ヨコエビ類(2)	} ややきれいな水とわかった
II ややきれいな水-ヤマトシジミ(9)	
III ややきたない水-タニシ類(1)	
IV きたない水- 0(いなかった)	
6. みつけた・ひろったゴミ-覧

・プラスチック類... 590g+490g	} <u>2kg 510g</u> のゴミが!
・ビニール類... 350g	
・ビニールひも... 110g	
・ビン・カン... 250g	
・発泡プラスチック... 90g	
・紙類... 30g	
・その他(ボールなど)... 600g	

ゴミが来た道

おちた (サングラ・ボール) 遊ぶ中になくなった。すてた。(育苗)

火田や田んぼ、花だん、庭から 風でとんだ。(育苗)

ポイする(サングラ) ボール、ボトル、カン、そうごいの入れ

1. ゴミひろいをして分かったこと

- ・ゴミをひろわないかぎりのこる。
- ・ゴミはふえつづける。
- ・突道湖中海が一番きたない海になってしまうかも。
- ・ポイするきんしのかんはみんなをむしている。
- ・「わすれた」「うっかり」のゴミも多い。
- ・人間が作ったものは自然にはもとどらない。ゴミがのこってしまう。← マイクロプラスチック
- ・ゴミひろいをしてほしい人が多い。気づいていてもひろわない。

↓

まだ間に合う? もうダメ?? 人間(アケト) かわい

これからどうしよう?

- ・どんな人がどんなゴミをすてているだろう?
- ・「うっかり」ゴミがとんだ経験

↓

きれいでいてほしい。生き物もたくさん。

話し合い活動⑤ 突道湖調査を終えて

50年前の刈も谷川上流いきの様子 清水恵美子さんのお話(9月6日)

生き物

- ・ハヤ(はえ) ・サワガニ ・ホタル
 - ・カワムツ(あかもち) ・ウナギ
 - ・ドジョウ ・カワニナ
 - ・ドンコ(ぼか) ・メダカ
- 30年くらい前からいなくなった

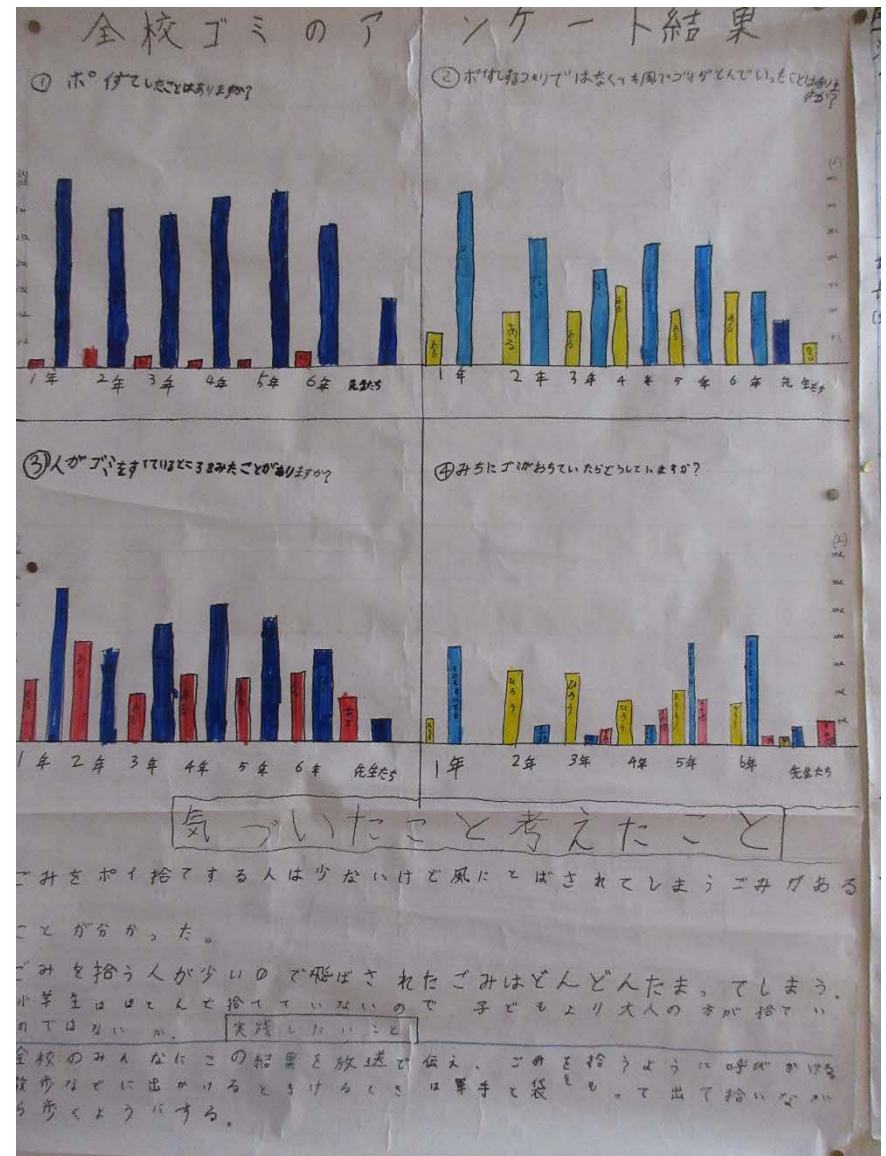
川の水をどのように使っていたか

- ・洗たく(どろもおとすとき) ・プールのかわり
- ・飲み水 ・野菜を洗う。
- ・くだものをひやす。 ・田んぼ(用水路・排水路)

気づき・疑問

- ・生き物がへった。
 - 環境が悪くなった。
- ・このままだと...?
 - もとまにたなくなる。
 - 生き物がもどる。
 - もっとゴミがたまる。

話し合い活動⑥ 50年前の刈藻谷川の様子



実態調査① 全校アンケート

漁業組合チーム

しつもん

- ・ゴミがあることはありますか。
- ・ゴミの量は昔と比べて変わっていますか。
- ・想像でいいのでこれから川や海はどうなるとおもうますか。
- ・ぼくたちにできることはありますか。
- ・なぜ、川がよごれるとおもうますか。

結果

- ・あります。(よくに雨がふ、たあとによく見かけます)
- ・昔と比べてあまり変わっていない
- ・このままだと、だんだんまたなくなる。
- ・みんなが心がけず、を、とぎれいとなる。
- ・一人一人が自然を大切にしていなからう

考察

気づいたこと・考えたこと

- ・雨がふ、たら、川にたま、たゴミが流されて湖にもえいきょうをあたえている
- ・宍道湖は中海や、日本海にもつながっているのて、身近な川をよごすことは、地球の海をよごすことになる。
- ・特に発泡スチロールやビニールなど、自然にもどらないものは捨てないことが大事。

実践したいこと

- ・ビニールをゴミにしないためにエコバックや買い物かごを持、て出かける。
- ・宍道湖一せいで清そうに参加する。

実態調査② 漁業組合インタビュー

聞いた人	宍道湖には昔どんな生き物がいたか	宍道湖でどんな生き物が活用していたか	今の宍道湖に昔の生き物が戻っているか	宍道湖を守るために今私達にできること
清水自治会長さん 50年前	スナコイ シジミ エイ	しじみとり 魚をさつる 生き物があつて まている	ちがう 水のにごり気になる もかへてきた 昔はもかへてあつた	発泡スチロールやビニールなど、自然にもどらないものは捨てないことが大事。 かたを大事にしてほしい
田中よしのさん 50年前	スナ、しじみ、うなぎ フナ、エビ、スズキ アマサギ	さいり川でせ んたくしてた やせいをあら ていた	昔は宍道湖のそこがみえた	アサギやフナを育て ないようにつける。
坂本センター長さん (東) 50年前	すもうあしこ しがいた。 シラワオー今はせんせ とれない	しじみを泳いでと いた。それを売、たり して帰、たりしてた	昔のほうはもう少し きれいだった。見た目は いだけ見た目はど きれじゃなかった。	いせいでいせいで アサギをい、たり をい、たりして きれいにしよう と心かける
清水えみこさん 50年前	すもうあしこ がいた。このころは いた。あまぎを食べて 今はあまぎとれない	活用してない が、た	昔よりもよ かった。	生活はいい水で洗、て 油を流さないよう とてから皿をあら う。せけんを使いすぎ ない
校長先生 50~40年前	⑦⑧⑨⑩⑪⑫ すまをまらじ さげさうみ さえ	活用してない が、た	今の方が きれい。	きたない物を流さ ない。かんぱん (ホイ捨て)をた てる。
岡センター長さん (檜山) 20~30年前	スナ、しじみ、うなぎ コイ、うなぎ フナ、エビ アマサギ、スズキ	泳いでしじみ とりをしてい た。	昔のほうがか きれいだ。た 1~10だ、た 今は6くらい	とりがい、ば いいるので見 てほしい

考察

- ・昔のほうがかきれいという人もいれば、今のほうがきれいという人もいた
- ・下水処理かし、かりしてきているので、きれいになるのではな
- ・昔は宍道湖の底が見えたという人もいたのて、ときどき底にしているたい
- ・シジミを泳いでと、たり、アマサギを食、たりしてたい。

実践したいこと

- ・洗剤を使いすぎないようにする
- ・発泡スチロールが風で飛ばされないように工夫して使う。
- ・将来的には自然にかえる素材を使、た発泡スチロールやビニ

実態調査③ 地域の方へのインタビュー